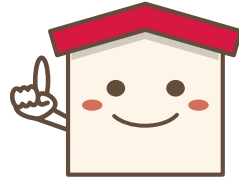




11月は火災が発生しやすい季節です

住宅火災から命を守る



11月9日(土)～15日(金)は秋季全国火災予防運動期間

「守りたい 未来があるから 火の用心」

(2024年度全国統一防火標語)

11月になると、空気が乾燥して火災が発生しやすい季節になります。11月9日(土)～15日(金)は秋季全国火災予防運動期間です。一人ひとりの心がけで火災を防ぐために、家の中をもう一度確認しましょう。

住宅火災の火災原因はたばこが1位 死者数の約7割が高齢者

総務省消防庁が発表したデータによると、令和5年の全国の総出火件数は38,659件でした。これは、平均すると1日当たり約106件の火災が発生し、約14分ごとに1件火災が起きたこととなります。

また、総出火件数のうち建物火災発生件数は20,968件、そのうちの53.8%が住宅火災です。全火災を出火原因別にみると、最も多いのはたばこで3,493件、次にたき火が3,472件、こんろが2,837件となっています。

火災による死者数は全国で1,500人にのぼり、そのうち住宅火災による死者数（放火自殺者などを除く）は977人で、65.1%を占めています。さらに年齢別でみると、65歳以上の高齢者が727人で74.4%を占めています。

このような結果をみると、住宅火災における火災発生はたばこが原因であることが多く、火災による死者は高齢者が最も多くなっていることが分かります。高齢者は、とっさに消火したり、素早く逃げたりすることが困難になりやすいです。

火災発生の原因や経過を見ても、人為的なミスが多く見受けられることから、「火災を起こさない」という意識を持つことが大切です。

住宅火災を防ぐ10のポイントを下の図にまとめたので、参



考にしてください。万が一火災が発生した場合は、迷わず119番通報しましょう。

防火ポスター・防火標語の入賞作品を展示

児童・生徒の防火意識の向上と火災予防啓発を目的に毎年実施しています。本年度は市内の小・中・義務教育学校などから197点の応募がありました。入賞作品は以下の場所で展示しますので、ぜひご覧ください。

▶日程/場所 ①11月2日(土)～7日(木)/イオンモール八千代緑が丘、②11月9日(土)～14日(木)/ユアエルム八千代台店

お問い合わせは
消防本部予防課 ☎459-7803へ

住宅防火 いのちを守る10のポイント

習慣
1



寝たばこは絶対にしない、させないようにする

習慣
2



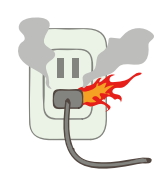
ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。給油時は必ず火を消す

習慣
3



こんろから離れるときは、必ず火を消す
周辺に燃えやすいものは置かない

習慣
4



コンセントは、ほこりを清掃し、不要なプラグは抜く

対策
1

ストーブやこんろなどは安全装置がついているものを使用する

対策
2

住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する

対策
3

部屋を整理整頓し、寝具、衣類などは防災品を使用する

対策
4

火災を小さいうちに消すために、消火器を設置し使い方を確認する

対策
5

避難経路と避難方法を常に確保し備える

対策
6

防火防災訓練に参加し、地域ぐるみで防火対策を行う

救命講習を実施します

消防本部警防課 ☎459-7804

◆普通救命講習Ⅰ 成人に対するAEDを含む心肺蘇生法など。修了者には「修了証」を交付します。市内在住か在勤・在学の人対象。先着20人。

▶日時 ①11月30日(土)、②12月4日(水) 午前9時～正午 ▶申し込み ①11月20日(水)まで、②11月22日(金)までに電話か直接同課へ

◆上級救命講習 成人・小児・乳児の普通救命講習に対するAEDを含む心肺蘇生法に加え外傷の手当てなど。修了者には「修了証」を交付します。市内在住か在勤・在学の人対象。先着20人。

▶日時 ①11月24日(日)、②12月13日(金) 午前9時～午後5時 ▶申し込み ①11月14日(水)まで、②12月3日(火)までに電話か直接同課へ